

「千葉商科大学ニューズレター」は、教育・研究、地域連携、国際交流などさまざまな側面で行われている千葉商科大学の活動、「実学教育」のさらなる充実をめざした戦略的な取り組みなどの最新情報を、日ごろご支援いただいている皆様にお伝えしています。

原則として毎月月初にお届けいたします。

ニューズレターの全文や記事の詳細は、本学Webサイトに掲載されています。

<http://www.cuc.ac.jp/>

◆ご意見、ご要望をお寄せ下さい◆

発行者
千葉商科大学
学長事務室
(戦略広報係)

TEL
047-372-4111(代)
FAX
047-373-9969
E-mail
p-office@cuc.ac.jp

千葉商科大学学長 島田晴雄からみなさまへ



学長 島田晴雄

いよいよ本学のキャンパスで4年間学んだ学生諸君が卒業し、社会に巣立っていく季節になりました。それぞれの人生に期待と緊張感を持って取り組んでいくことになると思います。社会に出て行った卒業生が、年月が経ちました学生時代を懐かしく思い出し、旧交を温め、母校とも様々な機会を通じて交流をさらに深められるように、私どもでは同窓会の方々と相談しながら、大学とより緊密な協力関係を構築できるよう同窓会の活動やあり方などを大きく進化させていこうと考えています。

第一に、同窓会長ならびに幹部の方々と、大学側の幹部による企画委員会を作り、熱血講座や同窓会表彰をはじめ様々な同窓会の大学に関わる活動を体系的に企画し、運営すること。第二に、名簿の管理を大学がお手伝いをして、より完全なものとする。第三に、会費の管理もしっかりお手伝いすること。第四に、定期的に情報誌(同窓会誌)を発行し、読者会員から毎年購読料を戴くことです。どうぞご期待下さい。

商経学部、政策情報学部、サービス創造学部は新学期が始まります。サービス創造学部では、昨年末から「サービス創造大賞」への応募を呼びかけていましたが、全国から880件(高校:827件、一般・本学学生:53件)の応募があり、その中から厳選された方々に大賞、準大賞、優秀賞などを差し上げ、4月3日(金)に行うサービス創造学部の開設記念セレモニーに合わせて、授与式を催すことになりました。大変素晴らしい提案が多く、私たちが大いに勉強させて戴きました。

4月からユニバーシティ・アワーが本格的に始まります。2009年度初回は私が講演し、4月8日(水)13時10分より本学体育館アリーナにて、学生諸君の輝かしい未来のために、精一杯お話しを致します。ユニバーシティ・アワーはどなたでもご参加を戴けますので、奮ってご参加下さい。詳細プログラムについては、Webサイトでお知らせ致します。

■ユニバーシティ・アワー聴講申込・問合せ

千葉商科大学 学長事務室 戦略企画係 TEL: 047-372-4111(代)

CUCアライアンス企業が300社を超えました

本学では、企業の方々とネットワークを組み、ともに相互理解を深め、学生が入学時から職業に興味をもち、働くことの意味を理解できるような環境を整備する試みを「CUCアライアンス企業」という名称で組織しています。2008年6月のCUCアライアンス企業発足フォーラムからスタートして8カ月、本学と連携・協働いただける企業は300社を超えました。本学開催の会社説明会やユニバーシティ・アワーでのCUCアライアンス企業フォーラム、Webサイトなどを通じて、本学とCUCアライアンス企業との密接な交流の仕組みづくりは、今後さらに発展し活性化されていきます。CUCアライアンス企業との取り組みは、Webサイトよりご覧下さい。

ニューズレター

「あったらいいな、こんなサービス」多彩なアイデアから大賞決まる!! サービス創造大賞 審査結果発表!

去る2月14日(土)、サービス創造学部主催により公募した「サービス創造大賞～あったらいいな、こんなサービス～」の審査結果が発表され、高校生部門の栄えある大賞に「シワ伸ばし街頭サービス」を考案した清野真依さん(新潟商業高校)が選ばれました。高校生部門、一般・商大生部門が設けられたこの賞には、全国から総計880件もの

素晴らしいサービス創造のアイデアが寄せられ、大賞の他、それぞれの部門から準大賞、優秀賞の計19点が厳正なる審査により選出されました。表彰式は4月3日(金)本学にて開催されず。受賞者とアイデアは、サービス創造学部の「サがつくブログ」でご覧戴けます。

【URL】 <http://mit.prof.cuc.ac.jp/fsiblog/>

活況だったシンポジウム「文化資産の活用と地域文化政策の未来」

2月28日(土)本学で政策情報学部主催のシンポジウム「文化資産の活用と地域文化政策の未来」が開催されました。歴史学・考古学・政策学等の研究者をはじめ、博物館職員、自治体の地域振興・文化財行政の担当者、県会議員、一般市民など82名の参加者が集まりました。シンポジウムは瀧上



信光学部長の挨拶に始まり、活発な議論がなされました。国主導の従来の文化財政策を転換し、地域住民主導で歴史的文化資産を多角的に活用していくことの必要性が指摘されました。地域連携活動で実績のある政策情報学部が、こうしたシンポジウムを通じて具体的な政策提言を行うことで、これからも地域のシンクタンクとして重要な役割を果たすと思われま

(政策情報学部准教授 朽木 量)

まちづくりを成功させるためのノウハウを学べます!

特別講座「まちづくりとショッピングセンター(SC)の開発・経営」開講のご案内

4月から7月までの期間中、「まちづくりとショッピングセンター(SC)の開発・経営」の特別講義を本学にて開講します。この講座では、SCのビジネスデザインやまちづくりを成功させるための理論と実践法を、業界第一線で活躍する実務家が解説します。日本の流通産業の歴史から現況、SC開発実務、管理運営、ターゲット戦略等幅広い解説に加え、ららぽーとや新丸ビルの経営展開や事例研究等、地域商業活性化のためのノウハウも学べます。

SC、一般商業施設、専門店・テナント等の商業施設の開発・管理運営の基本や方法を学びたい方、商業施設の指導に携わる方、商業施設計画の見直しや経験を復習・整理したい方、地域の再開発事業や関係業務に携わる方等にも参考になる講座です。講座料は無料ですので、奮ってご参加下さい。

■お申し込み・お問い合わせ

千葉商科大学商品学研究室 商経学部教授鮎川二郎
(TEL:047-372-4111 内線715)

お知らせ

■春のオープンキャンパス開催!! 3/29(日)13:00～16:00 ※事前申し込み不要

<プログラム>島田学長からのメッセージ、学部・学科説明、平成22年度入試概要について、キャンパスツアー、IT放送スタジオ体験、個別相談、体験授業 お問い合わせは入試広報課まで。

2月23(月)夕刻にゼミの公演会を行いました。作品はダンスと演劇二作の三本立て。三作目『Wブッキング』(大根健一作)は、文学新人賞の最終選考に残った二人の女性を巡るドラマで、戸村聡(政策情報学部4年、千葉西高校出身)、大原千秋(同2年、市川東高校出身)、外館沙織(同1年、中央学院高校出身)が50分にわたって熱演しました。制作に取りかかったのは10月はじめ。1号館の1102教室は、日に日に役者の練習場兼裏方の作業場へと化していきました。そこに制作好きが誘き寄せられてくるのは灯りに蛾が集まるがごとし。公演日までには私たちは、ゼミを越え、学部を越えた制作集団になっていました。

教室から

政策情報学部
譲原ゼミ公演会
『Wブッキング』

美術の宮武香央里(同3年、ウィザズ高校出身)の煌めくセンスが教室を小劇場に変身させ、音響の児玉彬(同2年、流山東高校出身)の研ぎ澄まされたオペレーションが役者と観客の呼吸を捕え切りました。ひとり一人の才能と責任ある行動が舞台を華咲かせるのだと、みなが実感したのではないかと思います。当日はなんと劇作家の大根健一氏も観客席に姿を見せてくれました。



(政策情報学部教授 譲原晶子)